

地球学野外調査法のレポート

君たちは無事に野田山，犀川，浅野川の3ルートにおいて調査を完遂した。この結果を「地質調査報告書」として提出してもらいたい。

締切り： 2016年 月 日

(アドバイスデー：2016年 月 日)

レポートの構成

- ・レポートのタイトル「〇〇地域の地質」が標準的。
- ・各章のタイトルは適宜変更してかまないが参考までに地質調査報告書における標準的なタイトルを以下に示す。

1. はじめに (実習の目的について触れる)
2. 調査方法 (どういう風に調査したのか. どのようなルートに入ったのか. どうやって岩相を観察したのか. どうやって地質図を書いたのかなど)
3. 地形・地質概説 (簡単で良いので, 金沢市周辺の地形や地質がどのようになっているのか概要を述べる). 地形概説と地質概説の2章に分けても良い。
4. 地質各説 (細かな地質について述べる. 各ルートごとに述べても良いが, 層 (Formation: 地図上で表現できる程度のまとまりをもった地質体. 地層区分の最も基本的な単位)ごとに述べてもらうのが良い. 述べる順番は基本的には下位から上位に向かって述べる. 調査した順番に述べてはならない (それはただに日記である). 産出した化石があればそれらについても述べる. また, 地層を対比する上で特徴的な岩相や凝灰岩層 (鍵層になりうるもの) については特に重点的に触れる.
もう一つ重要な点は, 層と層の境界がどうだったのか? 整合なのか不整合なのか? 境界は確認できていないのか?
5. 全体の層序 (地質概説の中, もしくは地質各説の最初に入れても良い). 模式図があるとよい. この地域では一般的に, 黒壁火砕岩層や七曲凝灰岩層, 朝ヶ屋泥岩層, 下新屋凝灰岩層, 高窪泥岩層, 犀川層 (一部分布していない地域もある?), 大桑層, 卯辰山層というのが認識されている. 君たちはどうだったか? 君たちはいくつの層に分けるのが妥当だと思うか?
6. 地質構造 どのような断層や褶曲などがどの層・地域に見られたのか? 全体としてはどちらが上位にあたるのか (全体の構造については地質概説に述べても良い)
7. 地史 簡単で良いので, 君たちの調査ででてきた地層が形成された環境, 地層形成時

にどういふことが周囲で起きていたのか（酸性火山活動があったとか、浅かったとか、深かったとか、生物活動が活発だったとか）？それを君たちが目にした証拠をもとに述べて欲しい。

8. 終わりに この調査で得たもの. まとめ.

9. 謝辞

10. 参考文献

【必要な図】

- ・位置図（どこを調査したのか、石川県もしくは金沢市周辺程度の地形図（国土地理院のネット地図でも良い）に調査範囲と踏査したルートを示す）
- ・地質図（5000分の1でも、1万分の1でも、2万5千分の1でも良い。やりやすいものでまとめて欲しい。必要であれば1万分の1を配布しても良い）。
- ・踏査図（ルートマップ）調査で使用した5000分の1の地形図に露頭番号や岩相の塗り分けなど、清書したもの。
- ・断面図（なるべく走向に垂直に断面線を取る。縦横のスケールは同じにする。今回は見かけの傾斜補正は行わなくて良い）
- ・柱状図（上記の断面図から柱状図をつくれればよい）
- ・模式層序区分図（下から上に向かってどのような層が分布していたのか。その簡単な特徴をまとめたもの）
- ・スケッチ、写真（調査で観察した露頭や凝灰岩のスケッチ、化石の写真、スケッチなどを適宜地質各説で参照すると良い）。

図の説明は図の下に！表の説明は表の上に！！

その他、わからないことは随時、ジェンキンス、神谷、長谷川、佐川に聞くこと。